

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、作りだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

言語活動の充実

感じ取ったことを話す、聞く、話し合うなどの活動を通して、表し方の変化や特徴などをとらえる学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

美術作品から気付いたことなどについて、ある程度理由を付けて考えたり、気持ちを振り返ったりする。

造形活動や鑑賞活動をしている友人と話し合う。一つの作品に自由に意見を述べ合ったり、作品の前で話し合い活動をする。

経験を基に共通点や相違点、表現の工夫などを見付ける。自分の活動を振り返ったり、交流したりすることで自分自身の考えを広げる。

単元における指導例 【題材名】 小さな美じゅつ館「花があるってすてきだね」第4学年

複数の作品を比べて、色や形、構図について違いに気付く。作品について自分なりの思いや考えをもつ。

自分の感じたことについて、友人と話し合う。
作品について感じたことを発表し合う。

友人の発表から自分の考えを振り返ったり、作品の特徴について新たな発見をしたりする。新しい考えを表現活動に生かす。

<目指す姿>

複数の作品を鑑賞して、ある程度理由を明確にして自分なりの考えを話したり、ワークシートに記入しようとしたりする姿。

お互いを認め合いながら、自分の感じたことを進んで話したり、友人の思いを喜んで聞こうとしたりする姿。

友人の考えとの共通点・相違点に気付き、自分の考えに生かそうとする姿。
新しい考えを表現活動に生かそうとする姿。

<十分満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら、自分なりの考えをもつことができる。

<おおむね満足>

色や形、構図について違いに気付くことができる。それらを基に自分なりの考えや意見をもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

つぶやきを聞き逃さず、考えをまとめるヒントとして提示する。

<十分満足>

伝える相手を意識し、理由や根拠を挙げながら、自分なりの考えを発表することができる。

<おおむね満足>

友人の感想を聞きながら、自分なりの考えを発表することができる。

<努力を要する状況の手だて>

作品に印を付けたり、話す順番を考えると表現しやすいことに気付かせる。

<十分満足>

友人の考えを意識しながら、自分なりの新しい考えをもつことができる。

<おおむね満足>

友人の考えとの共通点・相違点に気付き、自分の考えに生かそうとする。

<努力を要する状況の手だて>

それぞれの考えを指で示したり、印を付けたりして、自分の考えを見直す。

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

言語活動の充実

作品などに対する思いや考えを説明し合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

美術作品などを見ることによって、よさや美しさを感じ取る。
そう感じ取った理由や要素を様々な角度から洞察的に考える。

自分の感じたことや作品についての考えを、根拠を明らかにして述べたり批評したりする。
造形に関する言葉を意図的に用いて説明する。

言葉を使って他者と意見を交流することにより、自分一人では気付かなかった価値に気付く。思いをめぐらせながら対象との関係で自分の中に新しい価値をつくる。

単元における指導例 【題材名】 絵本は小さな美術館 第1学年

絵本をみて、イラストレーションのよさや美しさを感じ取る。美しいと感じた理由や要素を既習の事項、知識から考える。

自分の感じたことについて、色や形、構図などについての言葉を意図的に用いて説明する。
美しいと感じた理由を根拠を明らかにして述べる。

友人の説明を聞いて、自分だけでは気付かなかった要素、価値に気付く。新しい価値を表現活動に生かす。

<目指す姿>

これまで学習してきた内容や経験してきた内容から、おもしろい、美しいと感じる理由や要素をより深く考える姿。

絵本の性質を活用した工夫を、造形的な言葉を用いて説明する姿。
伝える相手を意識して、自分の感じたことを述べる姿。

友人の異なる要素、価値を意識し、自分なりの新しい考えを広げる姿。
新しい価値を表現活動に生かす姿。

<十分満足>

既習事項や経験を生かし、イラストレーションのよさや美しさについて自分なりの価値をもつことができる。

<おおむね満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見をもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

色や構図に関するキーワードをもとに、考えるヒントに気付かせる。

<十分満足>

伝える相手に応じて自分の考えを、論理的に表現することができる。

<おおむね満足>

自分の感じたことを、絵本の性質を活用した工夫を指摘して説明することができる。

<努力を要する状況の手だて>

絵本の性質を活用した工夫をカードにして提示する。友人に説明することを意識させる。

<十分満足>

友人の考えのよさや違いを認め、自分の考えを深めることができる。新しい価値を表現に生かすことができる。

<おおむね満足>

友人の考えを意識しながら、自分なりの新しい考えをもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えと異なるものを記入させ、自分の考えを見直させる。